

## 大阪女子大学学歌

1. われら われら つどへる友  
われらが つどひは とはに若し  
とはに 若かる このつどひ 望と愛に  
うちたつる このまなびやの  
日 に はえて 地 に 立てるは  
とはの 若さの 姿なれこそ  
われらの命 若きかぎりは  
このさかえ 日のごとも 久しかるらん  
いざ われら  
われらのつどひ とともにたたへん
2. われら われら つどへる友  
われらが つどひは 道をもとむ  
道をもとむる このつどひ 楽しみ励み  
うちたつる このまなびやの  
空高く さやかに立つは  
とはなる道の 像なれこそ  
われらの心 道に生きなば  
このさかえ 日のごとも 輝きしかん  
いざ われら  
われらのつどひ とともにたたへん

### 大阪女子大学学歌

前身の大阪府女子専門学校校歌として、1927年に決定される。

《作詞》平林 治徳(ひらばやし はるのり)(1889～1959)

1924 大阪府女子専門学校教授

1928～1959 大阪府女子専門学校校長、大阪女子大学学長

風巻 景次郎(かざまき けいじろう)(1902～1960)

1927～1932 大阪府女子専門学校教授

《作曲》信時 潔(のぶとき きよし)(1887～1965)

1915～1932 東京音楽学校助教授、教授

作曲家として数多くの作品を残す。